

庁議における審議要旨	
日時	
令和 8 年 5 月 2 7 日 午前 1 1 時 0 0 分～午後 0 時 4 0 分	
場所	
庁議室	
出席者	
区長、副区長、副区長、教育長、総務部長、危機管理部長、危機管理監、区民生活部長、地域文化スポーツ部長、産業経済部長、環境清掃部長、福祉部長、健康部長、子ども家庭部長、防災都市づくり部長、防災都市づくり監、会計管理部長、教育部長、政策企画課長、企画担当課長、財政課長、広報・シティプロモーション課長、総務課長	
付議案件	
1 地域交通の取組状況について 2 「あら B O S A I 2 0 2 6」の実施結果及び「あら B O S A I 2 0 2 7」の実施概要について 3 令和 8 年度区立幼稚園等・小中学校の就学状況について 4 幼稚園等の通園状況について 5 放課後児童事業の実施状況について 6 荒川区の保育の状況について 7 荒川区における情報セキュリティ対策の強化について	
審議の要旨	
1 地域交通の取組状況について 都市計画課長から資料に基づき説明があり、了承。 (主な意見・質疑) ○地元の有志による自家用車を活用した地域交通の実証運行については、安全を確保しながら進めていく必要がある。 2 「あら B O S A I 2 0 2 6」の実施結果及び「あら B O S A I 2 0 2 7」の実施概要について 地域防災担当課長から資料に基づき説明があり、了承。 (主な意見・質疑) ○あら B O S A I の当日は後半に来場者が減少したが、中学校防災部の皆さんが頑張って呼び込みをしていただき、多くの方々にお越しいただくことができた。 3 令和 8 年度区立幼稚園等・小中学校の就学状況について 学務課長から資料に基づき説明があり、了承。 4 幼稚園等の通園状況について 子育て支援課長から資料に基づき説明があり、了承。	

5 放課後児童事業の実施状況について
登校・放課後サポート課長から資料に基づき説明があり、了承。

6 荒川区の保育の状況について
保育課長から資料に基づき説明があり、了承。

7 荒川区における情報セキュリティ対策の強化について
デジタル推進課長から資料に基づき説明があり、了承。

(主な意見・質疑)

○令和8年度に特に強化する情報セキュリティ対策は何か。

- ・ 情報セキュリティに関する専門家を情報セキュリティアドバイザーとして登用し、情報セキュリティ委員会にも参加いただき、講話をいただいた。これからは様々な観点から専門家のアドバイスいただきながら情報セキュリティ対策を進めていく。
- ・ インシデント発生を想定した訓練を実施し、対応力を高めていく。

配付資料

1 地域交通の取組状況について

2 「あらBOSA I 2026」の実施結果及び「あらBOSA I 2027」の実施概要について

3 令和8年度区立幼稚園等・小中学校の就学状況について

4 幼稚園等の通園状況について

5 放課後児童事業の実施状況について

6 荒川区の保育の状況について

7 荒川区における情報セキュリティ対策の強化について

庁議付議予定案件
(令和8年5月27日 午前11時00分～)

1 地域交通の取組状況について

(説明者 都市計画課長)

2 「あらBOSA I 2026」の実施結果及び「あらBOSA I 2027」の実施概要について

(説明者 地域防災担当課長)

3 令和8年度区立幼稚園等・小中学校の就学状況について

(説明者 学務課長)

4 幼稚園等の通園状況について

(説明者 子育て支援課長)

5 放課後児童事業の実施状況について

(説明者 登校・放課後サポート課長)

6 荒川区の保育の状況について

(説明者 保育課長)

7 荒川区における情報セキュリティ対策の強化について

(説明者 デジタル推進課長)

○ 今後の庁議日程

6月 3日(水) 午後 2時00分～

6月11日(木) 午後 3時30分～

地域交通の取組状況について

内 容

病院間送迎車を活用した地域交通の実証運行についての利用実績及び、汐入地区における自家用車を活用した地域交通の実証運行を開始することについて報告する。

1 病院間送迎車の利用実績

正志会が運行している病院間送迎車を、病院利用者以外の70歳以上の高齢者が利用できる地域交通として活用する実証運行を令和8年1月から12月の予定で行っており、現在の状況は以下のとおりである。

(1) 令和あらかわ病院～町屋駅～南千住駅～リバーサイド病院（1日6往復）

月	運行 日数	利用者数			1便当 たりの利用 者数	70歳以上 の割合
		病院利用者	70歳以上	合計		
1月	19日	222名	67名	289名	1.27名	23.2%
2月	18日	250名	99名	349名	1.62名	28.4%
3月	21日	288名	72名	360名	1.43名	20.0%
4月	21日	280名	110名	390名	1.55名	28.2%
合計	79日	1040名	348名	1388名	1.46名	25.1%

(2) 令和あらかわ病院～日暮里駅～日本医科大学付属病院（1日6往復）

月	運行 日数	利用者数			1便当 たりの利用 者数	70歳以上 の割合
		病院利用者	70歳以上	合計		
1月	19日	647名	59名	706名	3.10名	8.4%
2月	18日	626名	105名	731名	3.38名	14.4%
3月	21日	833名	79名	912名	3.62名	8.7%
4月	21日	787名	83名	870名	3.45名	9.5%
合計	79日	2893名	326名	3219名	3.40名	10.1%

(3) アンケート調査

満足度	満足	やや 満足	普通	やや 不満	不満	未回答	合計
(1) 便	112名	21名	16名	8名	3名	1名	161部
(2) 便	979名	457名	469名	31名	2名	196名	2134部

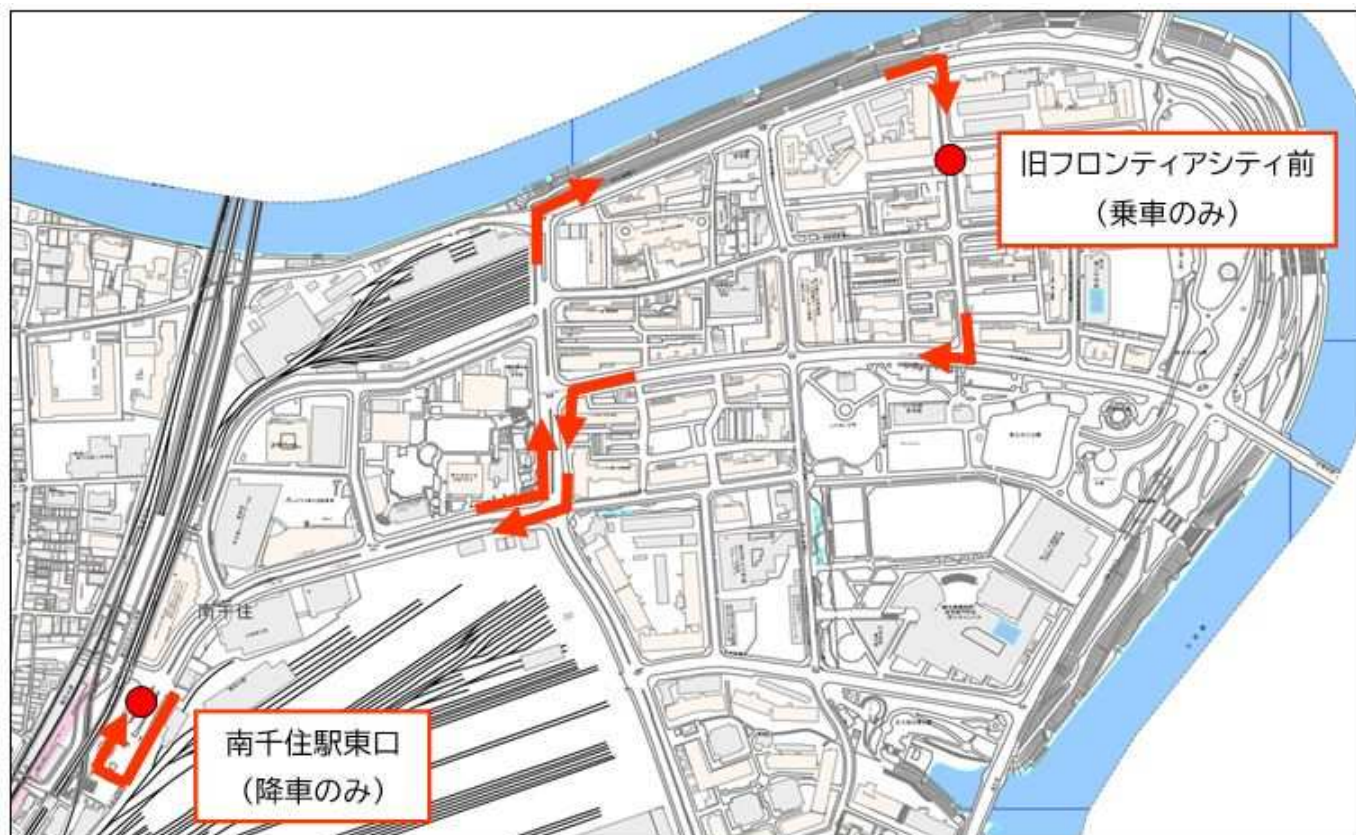
(4) 実施状況

- ・(1) のリバーサイド病院行きの便については、乗降ポイントの案内やQA付きの利用方法を記載したチラシを昨年12月、本年2月、4月と延べ7,400部各戸配付し、利用者数は増加傾向にあるが満席になることはない。本便については、地域住民の移動手段として定着しつつある。
- ・(2) の日医大病院行きの便については、実証運行開始前から病院利用者により満席の便が発生しているが日医大が運行する便により対応しており、問題は発生していない。
- ・アンケート調査の結果、両便とも9割以上が満足度を「普通」以上と回答しており、こうした利用者の調査は、運転手の業務の支障にはなっていない。

(裏面へ続く)

内 容 (続き)	2 汐入地区における地域交通の実証運行 汐入地区において、雨天時の朝の通勤通学時間帯に路線バスに乗り切れない状況が発生していることから、地元の有志が自家用車を活用して、住民を駅まで送る取組を6月から開始するので報告する。				
	(1) 計画の概要				
	項 目	内 容			
	組織名称	汐入地区地域交通運営協議会			
	会 員	運転手4名、事務員2名（随時、募集中）			
	運行路線	旧フロンティアシティ前～南千住駅東口（資料参照）			
	運行台数	1台（利用状況に応じて、変更を検討）			
	運行条件	前日の正午の天気予報において、降水確率が50%以上の場合に運行する。			
	運行時間	平日の7：00～8：20（5便程度）			
	乗 客	会員制 ※混雑した都営バスの利用が難しい70歳以上、妊婦、高校生以下の生徒・児童等			
今 後 の 予 定	会員登録方法	協議会：公式LINEアカウントを作成し管理する。 利用者：会員募集のチラシや乗車場所に掲示する二次元コードから公式LINEに登録する。			
	利用方法	列に並んだ順で乗車（予約不可）			
	期 間	令和8年6月1日（月）から1年間 ※実証運行終了後、本格運行への移行について判断			
	(2) 安全対策				
	・ 適性検査の受検による適格性の確認				
	・ 安全運転講習会の受講				
	・ 移動支援サービス専用の任意保険（対人対物無制限・搭乗者保障あり）への加入				
	・ 運行前後のアルコールチェック（チェッカーは区が貸与）				
	・ タクシー事業者による運転手の運行前点検				
	(3) 区の支援				
・ 東京都交通局やタクシー事業者など、既存事業者との調整					
・ 事業周知（チラシ作成、車両貼付用マグネットシートの作成等）					
・ 運行経費の助成（人件費、燃料代、移動支援サービス専用の保険料、安全運転講習費等、1年間50日稼働で約50万円を想定）					
令和8年6月		汐入地区における地域交通の実証運行開始			
12月		病院間送迎車の実証運行終了、結果の精査、本格運行の検討			
議会等報告	開示予定日	区報	HP	記者会見	
6月8日 建設環境委員会	区長会見後	－	区長会見後	5月26日	

運行路線図



「あらBOSA I 2026」の実施結果及び「あらBOSA I 2027」の実施概要について

内 容

1 概要

「あらBOSA I 2026」の実施結果及び「あらBOSA I 2027」の実施概要について報告する。

2 「あらBOSA I 2026」実施結果

(1) 会場開催

①開催日時

令和8年3月8日（日）午前10時から午後2時まで

②会場

南千住野球場

③協力団体

荒川消防署・尾久消防署・荒川消防団・南千住警察署・自衛隊・ライフライン関係事業者・災害時協定事業者・東京青年会議所荒川・区立中学校 等

④開催内容

〈当日の様子〉



▲VR防災体験車



▲キッチンカー



▲備蓄用品の販売

〈出展内容〉

・防災体験コーナー、ライフライン関係、車両展示エリア、協力事業者エリア、着ぐるみふれあいコーナー、中学校防災部、あらかわ防災リーダーブース 等

⑤来場者数（概数）

約4,000人

⑥実施結果

- ・イベント開始とともに多くの方が来場し、行列ができるブースも多かった。
- ・課題であった午後の集客については、トークショーや抽選会等、午後の時間に目玉となる取組を実施したため、客足が途絶えることはなかった。
- ・協定事業者によるキッチンカーの出店により、来場者の会場滞在時間が延び、午後の賑わいにも効果があった。
- ・車両展示エリアでは、災害時の救命・救助に活躍する車両や、避難所の衛生環境を支えるトイレカーなどに、多くの区民の方が関心を寄せていた。
- ・今回、あらBOSA Iとして初めて実施した防災物品の販売では、一部のブースで商品が完売する等、災害への具体的な備えや普及啓発に成果があった。
- ・あらかわ防災リーダーブースでは、防災クイズを通じて、多くの区民の方に活動内容や防災士の役割について広報する機会となった。

- ・アンケート結果では、VR防災体験車や展示車両の乗車体験、煙体験等の体験型ブースの満足度が高く、9割以上の方から「また参加したい」、と回答があるなど、イベント全体に対する好意的な意見が多くを占めた。

(2) 出張あらBOSA I

①令和7年度実績

- ・実施件数：13回（川の手荒川まつり、こどもまつり、おぐのはら防災等）

②開催内容

- ・起震車体験、給水車、7日間備蓄展示（ローリングストック）、防災普及啓発事業パネル展示、中学校防災部活動紹介パネル展示、チラシ配布（防災アプリ、屋内安全対策事業）等、イベント規模に応じて実施

3 「あらBOSA I 2027」実施概要（案）

(1) 会場開催

これまでの実施結果や、能登半島地震、激甚化する水害等を踏まえ、区民の災害に対する備えや意識の更なる啓発を図るため、防災関係機関や協定事業者、中学校防災部の生徒による協力も得ながらあらゆる世代が防災を主体的に捉える契機となる内容とする。

①開催日時（予定）

令和9年3月7日（日）午前10時から午後2時まで（雨天中止）

②会場

東尾久運動場 多目的広場（令和7年3月実施会場）

③開催内容

- ・降雨体験車（初開催）、起震車、消火体験などの防災体験
- ・防災関係機関等による車両展示や広報
- ・災害用備蓄や屋内安全対策の普及啓発
- ・備蓄品の販売

④検討中の課題

- ・集客要素等の充実
- ・近年の災害発生状況等を踏まえた啓発内容の整理

(2) 出張あらBOSA I

近年の多発化・激甚化する自然災害に対し、区民のさらなる自助・共助を促すため、年1回の会場開催のほか、各地域の子ども祭りや防災イベント等で区がブース出展する「出張あらBOSA I」を実施する。

①開催日時（予定）

年間を通して、区内の各イベントへ積極的に出展を打診する。

②会場

- ・区内各地域

③開催内容（案）

- ・起震車体験、給水車展示、7日間備蓄展示（ローリングストック）、屋内安全対策等のチラシ配布など、イベントの規模に応じて出展者と調整する。
- ・出展に当たっては、区職員その他、あらかじめ防災リーダーにも依頼し、協働して区民への普及啓発を行う。

今 後 の 予 定	令和8年6月 震災・災害対策調査特別委員会			
議会等報告	開示予定日	区報	HP	記者会見
6月 震災・災害対策調査特別委員会	—	—	—	—

令和 8 年度区立幼稚園等・小中学校の就学状況について

内 容	1 概要 令和 8 年度区立幼稚園等、小中学校の就学状況について、報告する。 2 幼稚園及び汐入こども園 幼稚園については、1 学級の上限人数を 3 5 人に定めた幼稚園設置基準により学級編制を行った。 また、汐入こども園については、短・中時間、長時間それぞれの定員で学級編制を行った。 [令和 8 年度の状況] ○全体の状況 ・幼稚園児数 2 3 4 人（前年度比 1 5 人増） ・汐入こども園児数 9 4 人（前年度比△ 1 4 人） ○3 歳児の状況 ・幼稚園児数 7 2 人（前年度比 8 人増） ・汐入こども園児数 2 1 人（前年度比 1 人増） ○抽選園なし 3 小学校 小学校については、1 学級の上限人数を 3 5 人に定めた東京都教育委員会の学級編制基準により学級編制を行った。 [令和 8 年度の状況] ○全体の状況 ・児童数 8, 7 7 0 人（前年度比△ 1 5 4 人） 学級数 3 3 1 学級（前年度比同数） ○新入学児童の状況 ・新入学児童数 1, 3 6 3 人（前年度比 1 8 人増） 学級数 4 9 学級（前年度比△ 1 学級） ・区外公立小学校への転出及び区外からの転入 転出 4 5 人（前年度比 8 人増） 転入 7 人（前年度比同数） ・通学区域外就学者数（通学区域外の小学校へ入学した児童数） 2 7 0 人（前年度比 1 3 人増） ・尾久西小学校、赤土小学校の 2 校で抽選を実施した。
-----	--

	4 中学校 中学校については、1学級の上限人数を中学校1年生は35人、中学校2年生・3年生は40人に定めた東京都教育委員会の学級編制基準により学級編制を行った。 [令和8年度の状況] ○全体の状況 ・生徒数 3, 372人（前年度比64人増） 学級数 115学級（前年度比6学級増） ○新入学生徒の状況 ・新入学生徒数 1, 120人（前年度比124人増） 学級数 37学級（前年度比5学級増） ・区外公立中学校への転出及び区外からの転入 転出28人（前年度比△6人） 転入12人（前年度比5人増） ・通学区域外就学者数（通学区域外の中学校へ入学した生徒数） 289人（前年度比77人増） ・第四中学校、尾久八幡中学校の2校で抽選を実施した。				
今 後 の 予 定	令和8年6月8日 文教・子育て支援委員会				
議会等報告		開示予定日	区報	HP	記者会見
6月8日 文教・子育て支援委員会		委員会報告後	—	—	—

令和8年度区立幼稚園等・小中学校の就学状況について

1 区立幼稚園園児数及び学級数

(5月1日現在)

園児数

幼稚園名	3歳児	4歳児	5歳児	計
南千住第二	18	13	12	43
町 屋	0	0	8	8
花 の 木	12	17	23	52
尾 久 第 二	13	19	17	49
日 暮 里	29	25	28	82
計	72	74	88	234
R7年度	64	81	74	219
増減	8	△ 7	14	15

学級数

3歳児	4歳児	5歳児	計
1	1	1	3
-	-	1	1
1	1	1	3
1	1	1	3
1	1	1	3
4	4	5	13
4	5	4	13
0	△ 1	1	0

2 汐入こども園園児数及び学級数

(5月1日現在)

園児数

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
定員	3	15	18	22	25	70	153
短時間	—	—	—	—	—	0	0
中時間	—	—	—	—	—	10	10
長時間	3	8	15	21	20	17	84
計	3	8	15	21	20	27	94
R7年度	3	15	15	20	27	28	108
増減	0	△ 7	0	1	△ 7	△ 1	△ 14

学級数

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1	1	1	1	1	2	7
1	1	1	1	2	2	8
0	0	0	0	△ 1	0	△ 1

注 : 3歳児の定員は22人(短・中時間なし 長時間22人) 4歳児の定員は25名(短・中時間なし+ 長時間25人)
5歳児の定員は70人(短・中時間43人+ 長時間27人)

3 小学校児童数及び学級数

(5月1日現在)

児童数

小学校名	一年	二年	三年	四年	五年	六年	合計
瑞 光	81	84	89	101	88	95	538
第二瑞光	30	41	24	39	40	31	205
第三瑞光	94	80	102	112	114	125	627
汐 入	79	107	107	121	128	114	656
汐 入 東	45	53	61	66	81	84	390
第六瑞光	8	18	14	24	9	20	93
峡 田	72	61	62	65	68	63	391
第二峡田	31	19	48	51	48	61	258
第三峡田	23	29	31	21	20	22	146
第四峡田	57	64	65	62	70	63	381
第五峡田	62	54	60	77	80	72	405
第七峡田	52	38	41	39	51	53	274
第九峡田	34	41	39	34	36	36	220
尾 久	68	66	89	72	67	62	424
尾 久 西	103	77	80	87	80	78	505
尾久第六	55	43	67	41	54	55	315
赤 土	99	97	84	94	91	107	572
大 門	60	55	54	47	71	45	332
尾久宮前	39	47	35	60	57	51	289
第一日暮里	29	31	24	29	32	26	171
第二日暮里	42	53	47	51	53	57	303
第三日暮里	63	76	63	61	66	67	396
第六日暮里	23	24	29	30	24	28	158
ひぐらし	120	91	90	92	91	101	585
合 計	1,369	1,349	1,405	1,476	1,519	1,516	8,634

(特別支援学級)

汐 入	2	0	2	3	3	7	17
第六瑞光	5	5	5	3	7	4	29
峡 田	3	3	6	6	13	4	35
第三峡田	(5)	(7)	(13)	(9)	(12)	(5)	(51)
尾 久 西	6	1	1	6	3	6	23
大 門	7	4	5	1	5	4	26
三 日	2	0	0	1	3	0	6
合 計	25	13	19	20	34	25	136

注：()内数字は、通級児童数

学級数

一年	二年	三年	四年	五年	六年	合計	略称
3	3	3	3	3	3	18	瑞 光
1	2	1	2	2	1	9	二 瑞
3	3	3	4	4	4	21	三 瑞
3	4	4	4	4	4	23	汐 入
2	2	2	2	3	3	14	汐 入 東
1	1	1	1	1	1	6	六 瑞
3	2	2	2	2	2	13	峡 田
1	1	2	2	2	2	10	二 峡
1	1	1	1	1	1	6	三 峡
2	2	2	2	2	2	12	四 峡
2	2	2	3	3	3	15	五 峡
2	2	2	2	2	2	12	七 峡
1	2	2	1	2	1	9	九 峡
2	2	3	3	2	2	14	尾 久
3	3	3	3	3	3	18	尾 久 西
2	2	2	2	2	2	12	尾 久 六
3	3	3	3	3	4	19	赤 土
2	2	2	2	3	2	13	大 門
2	2	1	2	2	2	11	宮 前
1	1	1	1	1	1	6	一 日
2	2	2	2	2	2	12	二 日
2	3	2	2	2	2	13	三 日
1	1	1	1	1	1	6	六 日
4	3	3	3	3	3	19	ひぐらし
49	51	50	53	55	53	311	合 計

						3	汐 入
						4	六 瑞
						5	峡 田
						(4)	三 峡
						3	尾 久 西
						4	大 門
						1	三 日
						20	合 計

【児童数総数】

8 年 度	1,394	1,362	1,424	1,496	1,553	1,541	8,770
7 年 度	1,360	1,433	1,481	1,557	1,539	1,554	8,924
増減	34	△ 71	△ 57	△ 61	14	△ 13	△ 154

【学級数総数】

49	51	50	53	55	53	331	8 年 度
50	50	54	53	53	53	331	7 年 度
△ 1	1	△ 4	0	2	0	0	増 減

注：学級数の一年～六年は通常学級のみ（8年度：311学級、7年度：313学級）。合計は特別支援学級を含む（8年度：331学級、7年度：331学級）

[参考資料]

(1) 小学校の新入学児童の状況

(4月1日現在)

項 目			8年度	7年度	増減	
新入学児童の状況						
新入学児童数（通常学級）			A=B+E-F-G-H	1,363人	1,345人	18人
	学齢簿人員数		B	1,522人	1,452人	70人
	区外就学	区外公立への転出	C	45人	37人	8人
		区外からの転入	D	7人	7人	0人
		増減	E=D-C	△38人	△30人	△8人
	国・私立への就学		F	40人	21人	19人
	特別支援学級・学校への就学		G	41人	28人	13人
	その他の就学等		H	40人	28人	12人
	通学区域外就学者数		I	270人	257人	13人
通学区域外就学率		J=I/B*100	17.7%	17.7%	0.0	
区内就学率		K=A/B*100	89.6%	92.6%	△3.0	

(2) 学校選択制度における抽選の実施状況

項 目		尾久西	赤土	
受入可能数		99人	99人	
希望者数	通学区域内	89人	90人	
	通学区域外	17人	19人	
	計	106人	109人	
抽選結果	抽選対象者（通学区域外）		17人	19人
	当選		10人	9人
	補欠		7人	10人
		繰上	3人	6人
		辞退	4人	2人
		最終的に繰り上がらなかった人数	0人	2人

4 中学校生徒数及び学級数

(5月1日現在)

生徒数

中学校名	一年	二年	三年	合計
第 一 中	121	84	98	303
第 三 中	132	126	147	405
第 四 中	100	101	103	304
第 五 中	38	52	75	165
第 七 中	79	84	82	245
第 九 中	70	32	56	158
尾久八幡中	165	133	157	455
南千住第二中	121	126	168	415
原 中	116	89	102	307
諏訪台中	179	178	157	514
小 計	1,121	1,005	1,145	3,271
九 中 夜 間	2	19	12	33
合 計	1,123	1,024	1,157	3,304

学級数

一年	二年	三年	合計	略称
4	3	3	10	一 中
4	4	4	12	三 中
3	3	3	9	四 中
2	2	2	6	五 中
3	3	3	9	七 中
2	1	2	5	九 中
5	4	4	13	八 幡 中
4	4	5	13	南 二 中
4	3	3	10	原 中
6	5	4	15	諏訪台中
37	32	33	102	小 計
1	1	1	3	九中夜間
38	33	34	105	合 計

(特別支援学級)

第 一 中	9	7	7	23
第 三 中	7	2	1	10
第 四 中	9	5	7	21
尾久八幡中	6	5	3	14
合 計	31	19	18	68

			3	一 中
			2	三 中
			3	四 中
			2	八 幡 中
			10	合 計

【生徒数総数】

8 年 度	1,154	1,043	1,175	3,372
7 年 度	1,023	1,164	1,121	3,308
増減	131	△ 121	54	64

【学級数総数】

37	32	33	115	8 年 度
32	33	32	109	7 年 度
5	△ 1	1	6	増減

注：学級数の一年～三年は通常学級のみ（8年度102学級、7年度97学級）。合計は夜間学級及び特別支援学級を含む（8年度115学級、7年度109学級）

[参考資料]

(1) 中学校の新入生徒の状況

(4月1日現在)

項 目			8年度	7年度	増減	
新入生徒の状況						
新入生徒数（通常学級）			A=B+E-F-G-H	1,120人	996人	124人
	学齢簿人員数		B	1,691人	1,558人	133人
	区外就学	区外公立への転出	C	28人	34人	△6人
		区外からの転入	D	12人	7人	5人
		増減	E=D-C	△16人	△27人	11人
	国・私立への就学		F	484人	455人	29人
	特別支援学級・学校への就学		G	47人	30人	17人
	その他の就学等		H	24人	50人	△26人
通学区域外就学者数			I	289人	212人	77人
通学区域外就学率			J=I/B*100	17.1%	13.6%	3.5
区内就学率			K=A/B*100	66.2%	63.9%	2.3

(2) 学校選択制度における抽選の実施状況

項 目		四中	八幡中
受入可能数		99人	166人
希望者数	通学区域内	72人	113人
	通学区域外	87人	124人
	計	159人	237人
抽選結果	抽選対象者（通学区域外）	87人	124人
	当選	27人	53人
	補欠	60人	71人
	繰上	39人	42人
	辞退（国・私立への就学等）	21人	29人
	最終的に繰り上がらなかった人数	0人	0人

幼稚園の通園状況について

内 容

1 概要

令和8年5月1日現在における区立及び私立幼稚園等の通園状況について、報告する。

2 令和8年度の通園状況

・令和8年5月の総園児数は 922 人、園児数は、前年と比べ 84 人減少した。

・区立幼稚園への通園が全体の 26%、私立幼稚園等への通園が 74%となっている。

・私立幼稚園等のうち、区内園が 58%、区外園が 42%となっている。

3 幼稚園等の通園状況の推移

		R4 年	R5 年	R6 年	R7 年	R8 年
区立幼稚園 (汐入こども園 A 含む)	3歳児	85	72	87	64	72
	4歳児	118	97	81	91	74
	5歳児	132	114	99	80	98
	計	335 (▲64)	283 (▲52)	267 (▲16)	235 (▲32)	244 (9)
私立幼稚園等 B 計 (C+D)	3歳児	322	322	199	247	222
	4歳児	396	309	322	205	251
	5歳児	434	353	296	319	205
	計	1,152 (▲175)	984 (▲168)	817 (▲167)	771 (▲46)	678 (▲93)
私立幼稚園 等(区内) C	3歳児	197	183	113	151	128
	4歳児	230	182	175	115	148
	5歳児	246	199	173	175	115
	計	673 (▲79)	564 (▲109)	461 (▲103)	441 (▲20)	391 (▲50)
私立幼稚園 等(区外) D	3歳児	125	139	86	96	94
	4歳児	166	127	147	90	103
	5歳児	188	154	123	144	90
	計	479 (▲96)	420 (▲59)	356 (▲64)	330 (▲26)	287 (▲43)
総計 E (A+B)	3歳児	407	394	286	311	294
	4歳児	514	406	403	296	325
	5歳児	566	467	395	399	303
	計	1,487 (▲239)	1,267 (▲220)	1,084 (▲183)	1,006 (▲78)	922 (▲84)

【単位:人、()内は前年比】

今 後 の 予 定

令和 8 年 6 月 8 日 文教・子育て支援委員会

議会等報告	開示予定日	区報	HP	記者会見
6月8日 文教・子育て支援委員会	—	—	—	—

庁議説明資料	
8.5.27	教育委員会事務局登校・放課後サポート課 子ども家庭部 子ども・若者課

放課後児童事業の実施状況について

内 容	1 概要 令和8年4月1日現在における放課後児童事業の実施状況等について、報告する。																		
	2 放課後児童事業の実施状況 (1) 学童クラブ事業 共働き世帯の増加等により、学童クラブの利用申請児童数及び在籍児童数ともに、中長期的に見て増加傾向にあることから、引き続き、供給体制の確保に取り組んでいる。																		
	<table><tr><td></td><td>R4年</td><td>R5年</td><td>R6年</td><td>R7年</td><td>R8年</td></tr><tr><td>学童クラブ数(施設)</td><td>28</td><td>27</td><td>28</td><td>28</td><td>29</td></tr><tr><td>在籍児童数(人)</td><td>1,812</td><td>1,782</td><td>1,857</td><td>1,864</td><td>1,921</td></tr></table>		R4年	R5年	R6年	R7年	R8年	学童クラブ数(施設)	28	27	28	28	29	在籍児童数(人)	1,812	1,782	1,857	1,864	1,921
		R4年	R5年	R6年	R7年	R8年													
	学童クラブ数(施設)	28	27	28	28	29													
	在籍児童数(人)	1,812	1,782	1,857	1,864	1,921													
	※R8定員：2,175人																		
	(2) 放課後子ども教室事業(にこにこすくーる) 平成28年度に、全24校での放課後子ども教室の開設が完了し、全校での放課後の安全・安心な居場所が整っている。																		
	<table><tr><td></td><td>R4年</td><td>R5年</td><td>R6年</td><td>R7年</td><td>R8年</td></tr><tr><td>登録児童数(人)</td><td>3,160</td><td>3,865</td><td>3,827</td><td>3,692</td><td>3,474</td></tr></table>		R4年	R5年	R6年	R7年	R8年	登録児童数(人)	3,160	3,865	3,827	3,692	3,474						
		R4年	R5年	R6年	R7年	R8年													
登録児童数(人)	3,160	3,865	3,827	3,692	3,474														
※R8学校在籍児童数：8,770人																			
(3) 放課後子ども総合プラン事業 学童クラブと放課後子ども教室を一体的に整備・運営し、両事業を利用する児童が体験プログラムと一緒に参加できる環境を整え、交流を図る「放課後子ども総合プラン」を推進している。																			
<table><tr><td></td><td>R4年</td><td>R5年</td><td>R6年</td><td>R7年</td><td>R8年</td></tr><tr><td>一体型総合プラン</td><td>16</td><td>16</td><td>16</td><td>16</td><td>17</td></tr><tr><td>連携型総合プラン</td><td>7</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td></tr></table>		R4年	R5年	R6年	R7年	R8年	一体型総合プラン	16	16	16	16	17	連携型総合プラン	7	8	8	8	8	
	R4年	R5年	R6年	R7年	R8年														
一体型総合プラン	16	16	16	16	17														
連携型総合プラン	7	8	8	8	8														
3 今後の取組 ・今後、尾久幼稚園跡地を活用して学童クラブを整備する予定。 【整備スケジュール(予定)】 令和 8年度 解体工事、地盤調査・敷地測量、基本・実施設計 9年度 建設工事着手 10年度 竣工(令和11年2月) 11年度 供用開始(令和11年4月)																			
今 後 の 予 定	令和8年6月 8日 文教・子育て支援委員会																		
議会等報告		開示予定日	区報	HP	記者会見														
6月8日 文教・子育て支援委員会		委員会報告後	—	—	—														

4月1日現在 学童クラブ在籍児童数

	R4	R5	R6	R7	R8	R8定員
南千住第一	77	69	67	74	79	80
南千住第二	34	37	34	37	39	40
南千住四丁目	18	—	—	—	—	—
南千住六丁目	106	112	110	110	107	110
汐入	106	103	109	100	106	110
二瑞小	68	65	67	65	62	70
汐入小	126	129	127	128	127	130
汐入東小	75	80	81	61	48	90
花の木	68	62	69	67	40	45
峡田	57	56	58	59	48	60
峡田小	—	—	—	—	70	90
二峡小	69	70	66	53	40	70
三峡小	34	25	34	34	33	35
赤土小	67	63	70	68	67	70
九峡小	52	45	53	54	48	60
四峡小	65	69	70	69	69	70
五峡小	88	89	89	82	83	90
七峡小	61	48	44	50	70	70
大門小	80	74	79	78	81	80
熊野前	23	28	36	29	29	45
尾久小	73	79	77	82	81	80
西尾久	52	55	77	75	84	100
尾久	—	—	17	31	38	40
尾久西小	68	68	70	68	69	70
東日暮里	25	26	25	25	23	40
六日小	39	43	42	43	39	60
ひぐらし小／西日暮里二丁目	80	79	98	99	107	110
ひぐらし／日暮里	45	54	33	66	67	80
三日小	77	67	72	87	88	90
二日小	79	87	83	70	79	90
合計	1,812	1,782	1,857	1,864	1,921	2,175

4月1日現在 放課後子ども教室（にこにこすくーる）登録児童数

	R4	R5	R6	R7	R8	(参考) R8 学校 在籍児童数
瑞光小	202	278	292	268	214	538
二瑞小	65	111	108	109	110	205
三瑞小	264	309	268	291	258	627
汐入小	168	207	214	207	158	673
汐入東小	243	232	222	191	171	390
六瑞小	88	99	101	71	72	122
峡田小	120	197	229	231	195	426
二峡小	82	133	144	112	102	258
三峡小	54	62	64	59	64	146
四峡小	152	169	161	170	140	381
五峡小	124	166	163	182	161	405
七峡小	100	120	116	99	72	274
九峡小	113	104	96	117	120	220
尾久小	110	135	152	157	145	424
尾久西小	138	177	181	161	192	528
尾久六小	158	157	153	120	138	315
赤土小	208	268	235	213	249	572
大門小	110	150	133	125	114	358
宮前小	144	193	172	150	145	289
一日小	102	139	142	147	136	171
二日小	127	139	144	140	125	303
三日小	72	76	123	133	143	402
六日小	75	70	68	78	80	158
ひぐらし小	141	174	146	161	170	585
合計	3,160	3,865	3,827	3,692	3,474	8,770

荒川区の保育の状況について

- 概要
令和8年4月1日現在における保育定員、待機児童等の状況について報告する。
- 保育定員・保育利用率の状況

<保育定員の状況（令和8年4月1日現在）>

区 分	施設数	保育定員（人）					
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4・5歳児	合 計
認可保育園	67園	420	1,011	1,141	1,168	2,386	6,126
認証保育所	6園	38	39	41	3	3	124
家庭福祉員	12人	32					32
合 計	73園						6,282

・地域の需要に応じた定員調整により、保育定員は合計6,282人（過去10年で+977人）となった。

<保育施設数の推移（各年4月1日現在）>

区 分	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
認可保育園	67	67	67	66	67
認証保育所	9	8	8	6	6
合 計	76	75	75	72	73

【単位：園】

<保育利用率の推移（各年4月1日現在）>

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
就学前児童人口（人）A	9,492	9,281	9,027	8,810	8,594
保育定員（人）	6,462	6,414	6,368	6,303	6,282
保育利用児童数（人）B	5,589	5,702	5,718	5,776	5,698
保育利用率（B/A）	58.9%	61.4%	63.3%	65.6%	66.3%

・就学前児童人口は216人減ったが、保育利用率は引続き増加傾向にあり、0.7ポイント上昇した。

内 容

内 容
(続き)

3 認可保育園入園状況・待機児童数等の推移（各年4月1日現在）

		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
入園申込者数 (取り下げ者を除く)	A	1,247 (▲120)	1,367 (120)	1,437 (70)	1,429 (▲8)	1,411 (▲18)
入園承諾者数	B	1,040 (▲86)	1,147 (107)	1,168 (21)	1,223 (55)	1,200 (▲23)
入園不承諾者数	C(A-B)	207 (▲34)	220 (13)	269 (49)	206 (▲63)	211 (5)
認可外対応等	認証保育所等	a	17	12	14	15
	家庭福祉員	b	5	3	14	3
	定期利用	c	6	2	0	0
	1園希望	d	10	10	8	6
	地区内(隣接) 空枠	e	26	18	12	34
	求職活動停止中	f	7	5	11	11
	育児休業延長 許容	g	132	169	171	125
	書類不備	h	4	1	6	1
	小計 (a~h計)	D	207 (▲13)	220 (13)	236 (16)	195 (▲41)
待機児童数	E(C-D)	0 (▲21)	0 (0)	33 (33)	11 (▲22)	14 (3)

【単位：人、（ ）内は前年比】

<地域別・年齢別の待機児童数の状況>

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	増減	(前年計)
南千住	0	0	0	0	0	0	0	0	(0)
荒川	0	0	0	0	0	0	0	▲1	(1)
町屋	0	5	0	0	0	0	5	3	(2)
東尾久	0	3	0	0	0	0	3	3	(0)
西尾久	0	6	0	0	0	0	6	6	(0)
東日暮里	0	0	0	0	0	0	0	▲8	(8)
西日暮里	0	0	0	0	0	0	0	0	(0)
計	0	14	0	0	0	0	14	3	(11)
増減	0	3	0	0	0	0	3		

(前年計) (0) (11) (0) (0) (0) (0) (11)

- ・地域別では、町屋と尾久地域のみ待機児童が発生している。
- ・年齢別では、1歳児のみ待機児童が発生している。

今 後 の 予 定	令和8年6月8日 文教・子育て支援委員会報告			
議会等報告	開示予定日	区報	HP	記者会見
6月8日 文教・子育て支援委員会	委員会報告後	－	委員会報告後	－

荒川区における情報セキュリティ対策の強化について

内 容

1 概要

- ・令和7年度に全庁の情報系端末をモバイルパソコンへ入れ替え、柔軟な働き方が可能になったことにより、これまで以上に情報セキュリティ対策の強化が必要となる。
- ・加えて、昨今の情報セキュリティに関する高度化する脅威等への対応は喫緊の課題であり、総務省のガイドラインや他自治体の状況を踏まえ、区における情報セキュリティ対策を強化する。

2 令和8年度に強化する取組

	既存の取組	8年度強化策
情報 セキュリティ ポリシー	・荒川区電子情報システム管理運営規程及び荒川区電子情報システムに係る情報セキュリティ対策基準により構成。	・法改正や最新情勢等を踏まえ、情報セキュリティポリシーを再編（「電子情報システム管理運営規程」（非公表）を廃止し、「情報セキュリティに関する規則」を制定し、公表。）
組織体制	・CISOを筆頭に、CISO補佐、システム管理部長・課長の役割を明確化、全電子情報システム及び情報資産の管理並びに情報セキュリティ対策を実施。 ・全職員のセキュリティポリシー遵守を義務化し、全庁的な組織体制を確立。 ・情報セキュリティ委員会を毎年開催し、セキュリティ対策の実施、評価、見直し、監査、障害対応等を決定。 ・情報システムに対する脅威や障害が発生し、またはその可能性がある場合は緊急時対応体制（CSIRT）により、庁内及び外部関係機関と連携し、収束を迅速化。	・情報セキュリティアドバイザーを新設し、セキュリティ対策に特化した専門人材の登用により、区全体のセキュリティ対策を強化。 ・情報系端末の入れ替えによりモバイル利用が進むことから、各職員の電子情報システムの適正利用に対する監督者をデジタル推進課長から所属長へ変更し、各所属におけるセキュリティ意識を向上。 ・デジタル推進課の情報系、業務系のネットワーク担当を統合し、一体的に管理することで障害発生時の対応を迅速化。

	職員の意識向上	・職員が情報セキュリティの重要性の認識を高め、情報セキュリティポリシーを遵守するため、最新情報を踏まえた研修及び自己点検を毎年実施。	・各職場において情報セキュリティ対策の実施状況を確認するため、内部監査を実施。 ・インシデント発生を想定した訓練を各所属において実施し、具体的かつ実践的な対応力を習得。	
	専門機関との連携	・セキュリティ対策について、適切に整備・運用・管理されているか、専門的な立場から検証・評価するため、外部監査を毎年実施。	・オール東京によるセキュリティ対策推進の司令塔役である都サイバーセキュリティセンター（令和7年12月設立）の運営状況に応じて連携し、高度化する脅威へ対応。	
3 参考 荒川区における情報セキュリティポリシーの体系は以下の図のとおり。 管理運営規程 対策基準 実施手順 全て非公表 管理運営規程は廃止、 内容の一部は 対策基準や要綱へ 規則 対策基準 実施手順 規則のみ公表 情報セキュリティポリシー 【管理運営規程から移す内容】 ・CIO、CIO補佐の詳細な役割等：対策基準へ移動 ・システム運営・セキュリティ委員会に必要な事項等：要綱制定				
今後の予定	令和8年 7月 インシデント対応訓練 10月 情報セキュリティ監査 令和9年 1月 自己点検、内部監査			
議会等報告	開示予定日	区報	HP	記者会見
—	—	—	—	—